

## 森りょうじ リポート。(111号)

## 森りょうじ

森が動く。



市議会議長



討議資料

4月に統一地方選挙が行われます。近年は投票率が低下傾向にあり、当市の投票率も同様です(前回は43.87%)。投票率が全てではありませんが、世界情勢を受けて民主主義の在り方が問われる中、「選挙」の位置付けは非常に重要になってきています。皆様と一緒に考える機会にしたいと思います。

謹んで新春のお慶びを申し上げます。皆さまのご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。

## ■森の決意2023

着実な人口増加に伴い、当市の環境は大きく変わりました。至るところで子ども達の元気な声が響き渡り、公共施設やイベントでは様々な世代の方々のご活躍の様子を拝見します。また計画的な公共インフラ整備も進み、地域の経済活動には勢いを感じます。

その一方で市内を隅々まで歩くとその流れとは距離を感じる地域があり、子ども、高齢者やハンディキャップを持つ方で支援を必要としている方にもお会いします。そのような地域や人に寄り添い、誰もが夢や希望を持てる地域づくりも重要なテーマと言えます。

解決策のヒントが“森づくり”です。森には「やさしさ・多様性・癒し」などがあります。強い(成長する)まちだからこそ、やさしい森の存在も必要です。責任世代として「強くて、優しい森のまち」を目指して、46歳の森はとことん動きます！



## ■森の居場所。(感謝！駅活動20年！)

平成15年1月から始めた各駅での活動が丸20年となりました。私にとって朝の駅活動は政治活動の原点です。たくさんの方と出会い、様々なことを学びました。常に住民の方と接することは政治家の基本です。今後も“顔の見える活動”を大事にしていきます！

## ■定例会のご案内(任期中の最後の議会です)

第1回定例会は2月16日～3月22日の予定です。

○1976年6月12日/46歳/家族:妻・黒猫2匹(保護猫)

※流山生まれ。サラリーマン家庭(父はNTT出身)で育つ  
流山市立新川小、流山市立北部中卒業

日本大学第一高校、武蔵大学経済学部卒業

○2000年4月 大成建設株式会社に入社(管理部ほか)

○2003年4月 流山市議会議員に初当選(2,692票)

○2011年4月 流山市議会議員二期目当選(4,508票)

○2015年4月 流山市議会議員三期目当選(5,830票)

○2019年4月 流山市議会議員四期目当選(8,961票)

※政治理念はケネディ大統領の「国が何をしてくれるかではなく、自分が国のために何ができるか」。

## 森が動く①

【令和5年度に向けた予算要望】

新年度予算編成作業が大詰めを迎える中、私たち議員は自らが求める政策の予算を位置付けてもらうことは大変重要な活動です。もちろん予算の都合もあるため何でも要望すればいいものではありませんので、厳選して要望を行いました。以下一部を紹介します。

### 森が求む①（保健センターの拡充！）

21万人の健康増進や保健衛生また母子健康手帳の交付やワクチン接種の会場として西初石にある保健センターの役割は年々大きくなっています。



そのため人材配置を増加したことに伴

【Ryoutubeのもり散歩でも特集！】

い施設の狭隘化や老朽化が課題になっています。数年前に駐車場を拡充しましたが、今後は施設の拡充にも取り組む必要があります。

### 森が求む②（小学校の手狭なロッカーの改修）

市内には新しい学校もあれば、古い学校もあります。とくに伝統校では環境の変化に対応しきれていない点もあります。その一つにデジタル端末導入や教科書の増加に伴うランド



【旧型の狭いロッカー】

セルの巨大化の問題があります。既存のロッカーでは収納できないため改修を求めています。

### 森が求む③（ぐりーんバスの充実）

市内6路線あるぐりーんバスは「市民の足」として定着しています。今後は議会が求めてきた「実効性のある公共交通計画（決議）」に基づき、さらに利便性を高めるための方策が必要です。柔軟なルート・料金設定など、利便性の高いバス行政の確立を求めています。

### 森が求む④（その他一部紹介）

- ・医療体制の充実強化
- ・江戸川台駅東口再整備や物流施設関連の問題
- ・保護猫・犬活動の支援充実など

WebSite「森りようじ」を検索！  
また Twitter・Facebook も更新中！

## 森が動く②

【令和4年第4回定例会ダイジェスト】

今期定例会は議案26件（追加2件）、陳情4件を審査。議案2件を報告します。（会期中に新型コロナに感染し、1日欠席しました）。

### 森が重視した議案（補正予算）

専決処分補正予算と約24億円の補正予算には重要な事業が盛り込まれていました。審査に際して質疑をした3点の事業を報告します。

#### ① 省エネ家電の買替え補助金4,500万円

11月に広報で発表した直後に申し込みが殺到し、わずか3週間で打ち切りとなりました。脱炭素化に繋がる素晴らしい事業であり第2弾実施を求めました。【市内で約2億円の経済効果！】



#### ② 妊娠・出産・子育てサポート事業226万円

産後ケア事業の利用者が増加しており、そのための増額補正でした。核家族化が進んでいることから今後も手厚いサポートを求めました。

#### ③ 白みりんミュージアム建設4億4200万円

当市は白みりん発祥の地ですが、その歴史を学んだり、触れたりする機会が乏しいため、企業版ふるさと納税を活用して、施設整備を行うことになりました。（建設予定地は流山3丁目）

## 森が動く③

【地域連携の実例を発表】

この4年間は様々な地域資源（人・企業・専門家・学校など）を繋ぐことで、地域が持つ可能性を引き出す取り組みを積極的にサポートしてきました。その成果は当市のまちづくりに大きく寄与したものであると思います。今後は限



【地域連携を研究する勉強会で提案】

定的であった取り組みを全市に広げたいと思っています。昨年11月には「地域連携」の取り組み事例として、東京理科大学で教授の皆さまに発表を行いました。

【事務所】流山市中野久木 559-2

TEL&FAX7155-3236 / ryoji612@peach.ocn.ne.jp